



Share Rotary—
Serve People

みんなにロータリーを—
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 斎藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 74名 出席 55名 出席率 74.32% 前回出席率 71.62% 修正出席 63名 確定出席率 86.49%

会 長 報 告

内 山 喜 一 君

- 始めに千葉西R.C.と鶴岡R.C.とのバナーの交換がありました。
- 次に、去る3月24日鶴岡土曜会混声合唱団の結団式がありました。川村さんと斎藤幹事さんに出席して貰いましたので、後で御報告を願います。

幹 事 報 告

斎 藤 隆 君

1. 会報到着
鶴岡西R.C. 鹿兒島西R.C.
台中港区扶輪社
2. 台中港区扶輪社より「扶輪」№5到着
3. 日中友好のしんぶん「日本と中国」
3月5日号到着
4. ユネスコ新聞 3月1日号到着
5. 電電公社「テレトピア」3月号到着
6. 国際ロータリー第253地区常葉ロータリークラブ創立10周年記念式典のご案内

期 日 5月13日(日)
会 場 常葉農村勤労福祉センター
登 録 料 8,000円
申込メ切 4月20日まで 事務局まで

鶴岡土曜会混声合唱団結団式の報告

川 村 徳 男 君

去る24日(土)午後6時から商工会議所の5階ホールで、土曜会のヨーロッパ訪問の結団式が行なわれましたが、鶴岡クラブから三井徹さん、御橋さん、

幹事の斎藤さん、それに内山会長が所用のため私が代って出席し、祝辞を述べてきました。

来賓として市、教委などの関係機関や団員の職場の上司など20数名が出席し、市長ほかの祝辞があり、団長の穴沢パストガバナーの挨拶などが行なわれ、数曲の合唱が披露されて、終始なごやかな会合で、向うへ行っても、きっとリラックスして歌ってくるだろうという感じでした。

7月1日成田空港出発だそうです、今のところ行く団員は30人位で、50人位は欲しいというようなことを言っていました。

なお、随伴者として参加できる方があれば、ぜひお願いしたいとのことでした。

なお、この模様は25日(日)の昼のNHKニュースでラジオ、テレビで放送されたそうです。

創立25周年記念式典及び 台中港区統盟式開催のご案内

三 井 健 君

予てお知らせの如く来る4月16日台中港区統盟式及び17日創立25周年式典(例会を兼ねる)挙行についてご案内申し上げます。

尚、当日は会員皆様の万障繰合せてのご参加と、ご夫人の方々のご参加をお願い致します。

◎台中港区統盟式

日 時 4月16日(月) 午後5時
場 所 温海温泉 ホテル万国屋
登 録 料 宴会のみ 7,000円
宴会・宿泊 12,000円

庄内空港の建設を推進しましょう

(往復バスを用意します)

◎創立25周年記念式典

日 時 4月17日(火) 正午

場 所 鶴岡公園内 参集殿

登録料 会員 5,000円

夫人 3,000円

○4月3日(火)の例会までにご連絡願います。会費もお願いします。

会員スピーチ

緑資源とその効用

塚原初男君



1. 県の新しい 森林整備事業

今月20日の新聞に「全国的に緑の保護運動が高まっている中で、県は一般県民を対象に、森林育成の資金を集め、生長した樹木を伐採・販売した収益を資金提供者に分ける。という新しい森林整備事業を新年度から発足する」という記事が紹介されました。そのねらいは、森林資源のP.R.と、バラバラにおこなわれてきた緑化運動の一元化であり、21世紀をにらんだ「ふるさとづくり」として「貴重な緑資源を護り、県民に心の豊かさと生活のうおいをもたらす」というのだそうです。大変結構な事と思います。

山形県は緑の豊かなはずだ。それを今さらとおっしゃるむきもあるかもしれません。本当にそうなのでしょうか。少し考えてみたいと思います。

2. 山形は森林県か？

面積でながめてみますと、山形県の森林面積は県土の71%です。春になると田や畑も緑でいっぱいになりますから、緑の県という言葉は確かにまちがいではありません。

しかし、森林を県民の生活資源としてながめてみますと、実は、かならずしも豊かだと言い切れない。例えば、県民1人当りの森林面積にそのことがあら

われています。

山形県の1人当りの森林面積は約0.53haです。これは全国平均の0.22ha/人よりは広いのですが、世界の平均1.20ha/人の半分以下なのです。ちなみに世界の主な国々の様子を比べてみますと、カナダが第1位で22.2ha/人、オーストラリアが20.0ha/人で飛び抜けています。5~1ha/人グループを順に申しますと、フィンランド、ブラジル、ソ連、スウェーデン、ここまでが世界平均より高い国々で、以下、インドネシア、タイと続きます。0.5~0.1ha/人グループとして、ユーゴ、オーストリア、フィリピン、チェコ、ルーマニア、その次に日本が来て、フランス、ポーランド、インド、中国、西ドイツ。最後はイギリスの0.02ha/人となっています。山形県はユーゴと同じくらいですから、とても森林県とは言いきれません。

鶴岡はどうかと言いますと、田川地区の市町村で0.53ha/人です。県平均と同じ程度ですから森林地域とは言いきれません。ただし、朝日村は7.9ha/人とこのあたりでは最も高く、北欧諸国のレベルを越しておりますから、森林村と言ってもさしつかえないでしょう。

もう一つの見方は、あと何年分の木材資源が山に残されているかということです。そして、その年数で再び伐採して利用できる森林に育てることが出来るだろうかという見方があります。

わが国、世界でも有数の森林資源の消費国で、最

近の統計資料によりますと、国民1人当たり0.8㎡つまり約3石の木材を毎年消費しています。ところが山には、あと26年分の資源しか残されていません。日本中のすべての森林を平均26年で再び伐採し利用できる林に仕立てることは、さかだちしても無理な相談です。実際には、その足りない分を外材に依存しています。全国の木材消費量の65%を毎年他国から輸入し補充することによって、わが国の国内の木材資源をなんとか72年分残しているのが現状です。72年ならばスギならなんとか再利用できる林に仕立てられるでしょう。キノコの原木も大丈夫でしょう。生長の早い木ならなんとかやっけてゆけるでしょうが、それでも、全国のすべての森林をもとの大きさに育てるとしたら、この年数では不安です。100年はほしいところです。

山形県はどうかと申しますと、木材消費量が1人当たり年0.39㎡、約1.4石で全国平均の約半分ですが、53年分、足りないところを外材で補充し、あと103年分の木材資源を残しています。また田川の9市町村では、消費量こそ0.59㎡、約2.1石と県平均より多いのですが、外材ゼロの計算ではあと92年分、外材補充の現実ではあと163年分の資源を残していることになります。以上の年数は、今と同じ木材を消費した場合と仮定しての計算上の数値です。

外材がゼロになるとは思えませんが、世界的に森林破壊が問題になっている昨今では、今後は一層きびしいと考えなくてはなりません。そのうち、木材資源は一朝一夕にして確保できる性質のものではありません。戦後の復興の際の大量の木材資源の消費のツケは、今でもいたる地方に確実に尾を引いていることは、林業にたずさわる方ならどなたもよくご存知のことです。50年、100年後のことを考えて植林するのも、林業家の常です。その意味では、今日の林業家は21世紀の前半から後半、やがては22世紀に目を向けているわけです。

面積には限界のある森林です。たとえどんな可能

性でも、より早く森林を造成できることなら、なんでもやってみる必要があります。異常に多い木材の消費量も、再利用(リサイクル)したり、制限を加えたりしなければならぬかもしれません。

3. 森林の効用

第1の効用は、木材資源ですが、森林には他にもいろいろな効用があります。

第2は、水資源の確保。これは、下流にいったん水を流さないで少しづつじわじわ流す。その結果渇水期の水位を高める効用です。赤川は鶴岡市の水の大動脈ですが、その水は櫛引町や朝日村の森林が確保してくれているわけですから、鶴岡市民は赤川上流の森林に対して水資源確保料金でも支払って当然だという考え方が生れるのも不思議ではありません。

第3に国土保全。森林の存在が洪水流量を緩和したり、土石流を防止してくれます。

第4に生活環境の保全。防風、防雪、庄内砂丘のクロマツ林のような海岸の飛砂の防止や防潮。酒田大火で見直された本間家の庭木のような火災防止、霧の防止、乾燥害の防止、「おしん」のロケ地にもなった山居倉庫の西側のケヤキ林のような気象緩和など。

第5に環境指標。大気汚染の指標です。

第6に騒音防止、鳥類の生活の場の提供。都会生活のストレス解消、教育材料の提供などです。近年は「森林浴」という言葉も使われるようになりました。フィトンチッドは「植物のもつ他を殺す物質」の総称ですが、有益、無害、そして有害といろいろあるようで専門に研究されている方もいます。

4. 防雪林のおすすめ

今冬の風雪は大変きびしいものがありました。私の自宅は市全体から見ると風上にあり、家がぐらぐらゆれる日も多くありましたし、吹きだまり雪も沢

山ありました。入り口と車道までの間の除雪を終えたのはつい1週間前のことです。

全国的にも風雪のきびしい庄内には、多数の集落がありますが、各集落の風上には決まって防風、防雪林が設定されています。この防雪林の防雪効果を調べてみますと、風上約50～80mの範囲に大量の雪をためる効果があり、集落内への地吹雪の侵入を防止しています。ところが、どここの集落でも、集落と集落との間を南北に結ぶ防雪林は何故か見当りません。そのため、集落の北側あるいは南側の道路に巨大な吹き山の出来る場所が沢山あります。市が早朝、通勤前に除雪作業にとりくみ、道路上ばかりで

なく、その両側の雪を平らにならしている地点を調べてみますと、全部集落の北または南側で共通しています。私は、集落間の主要道路の風上に、防雪林を南北に列状に配置することをもう一度検討してほしいと思います。樹木の影は稲作に悪い影響を及ぼすかもしれません。しかし、その区域を近年の減反政策の対象地としたり、あとでどうしても邪魔なら人工的な防雪柵を設けて防雪林は伐採して開墾し直すこともできます。我田引水ですが、どんな場所でも木を植え、緑をふやせる場所に積極的に緑をつくる。これが私達の役割りではないか。私にはそう思われてなりません。

スマイル

- 小松 廣穂 君 2週間宮原医院に入院して、多数の御見舞い有難う御座いました。加えて上の孫が北高に合格して。
- 塚原 初男 君 長女山大人文学部経済学科に合格して。
- 佐々木 喆彦 君 無事卒園式を終えて感謝をこめて。
- 張 紹 洵 君 東京R.C.家族会で恩師石川先生と会食出来て。
- 御橋 義諦 君 酒工に栄転と、娘が大和中に採用されて。
- 板垣 広志 君 次男が中央大学理工学部電気工学科に合格して。

ピジター

- 千葉西R.C. 畠山五郎治 君
鶴岡西R.C. 半田茂弥 君
〃 桜井 清君

- 鶴岡西R.C. 長野正彦 君
〃 野口 弥君
〃 加藤有倫 君
〃 佐藤成生 君
〃 八幡慶二 君

今年度プログラム予定

- 4月 3日 雑誌広報委員会 スライド
10日 鶴岡市長
17日 25周年記念式典
24日 若生恒吉さんとI.C.M.の報告
5月 1日 観光スライド
8日 斎藤 昭さん
15日 黒谷正夫さん
22日 藤川享胤さん
29日 荘司専務さん
6月 5日 染野校長
12日 創立記念日 津田さん
19日 布施さん
26日 退任あいさつ

(今週の担当者 菅原辰吉)